



平成 28 年 5 月 20 日

各 位

会社名 **ラサ商事株式会社**  
代表者名 代表取締役社長 井村周一  
(コード番号 3023 東証第一部)  
問合せ先 常務取締役経営企画室長 大岡 隆  
(TEL: 03-3668-8231)

### 新中期経営計画策定のお知らせ

当社は、2018 年度（平成 31 年 3 月期）を最終年度とする 3 カ年中期経営計画『Next Stage Rasa 2018 ～80 周年への布石～』を策定いたしましたのでお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 中期経営計画策定の背景

前中期経営計画『New Challenge Rasa 2015 ～飛躍に向けた第一歩～』では、経営目標は未達成であったものの、イズミ株式会社の完全子会社化、M&A による旭テック株式会社の子会社化などグループ経営基盤の構築に注力し一定の成果を挙げることができました。

当社を取り巻く事業環境は、当社の主力事業である産機・建機関連事業、一昨年の 12 月より加わったプラント・設備工事関連事業においては、国内景気の減速感があるものの足もととは堅調に推移するものと思われま。一方、資源・金属素材関連事業においては、中国景気減速の影響から商品相場が低迷しており、当面この厳しい事業環境は継続する見通しです。

当社は、本中期経営計画最終年度 2018 年度に創立 80 周年を迎えます。本計画を変革の好機と捉え、重点施策を推進することにより企業価値向上を目指します。同時に、創立 80 周年を迎えた後も専門商社の枠組みを超え、社会インフラを支える高付加価値創出企業として持続的に成長できる経営基盤構築に注力いたします。また、本年度より配当方針を見直し株主価値の極大化に努めてまいります。

#### 2. 重点施策

テーマ	重点施策
収益基盤の更なる強化	・国内シェア No. 1 のスラリーポンプにおいて更なるシェア拡大 ・多目的可搬式ポンプシステム「BETSY」の販売拡大 ・石炭ガス化複合発電所向けにラサシステム導入推進 ・大太平洋機工（持分法適用会社）と製販一体となった研究開発、市場開発、商品供給体制の確立 ・子会社旭テックにて、工場設備増強によるステンレス配管事業・ポンプ整備事業の拡大 ・グループ企業間におけるシナジー創出
経営基盤の更なる強化	・新基幹システムの導入 ・相場下落に対応できる鉱産物在庫水準の見直し ・グループ企業間の人的交流推進 ・コーポレート・ガバナンスの更なる充実

### 3. 財務方針

#### (1) 投資方針

財務健全性を意識した経営を推進します。M&Aについては当社の企業価値向上に資する案件であれば機動的に対処します。なお、本中期経営計画には新たなM&Aによる収益寄与は織り込んでおりません。

#### (2) 配当方針

当社は、株主の皆様への長期的利益還元を重要な経営課題の一つと考え、安定配当を行うことを基本方針としつつ、配当性向は従来20%前後とさせていただいておりましたが、本年度より25%前後へ引き上げることといたしました。

#### (3) 目標とする経営指標

経営指標	2018年度目標値
自己資本当期純利益率（ROE）	8%以上
売上高経常利益率	5%以上
自己資本比率	50%以上

### 4. 経営目標

本中計最終年度（2018年度）に売上高380億円（2015年実績対比24%増）、営業利益18億円（2015年実績対比27%増）、経常利益19億円（2015年実績対比27%増）、当期純利益12億円（2015年実績対比27%増）を経営目標とします。

なお、2016年度につきましては、収益の柱である主力の産機・建機関連をはじめ資源・金属素材関連以外の事業は堅調な推移を計画しております。一方、資源・金属素材関連事業は、商品相場下落を織り込んだ計画となっており、前期比大幅な減益で赤字となる見通しです。しかし、市場下落にも対応できる鉱産物在庫水準への見直しを図り、資源・金属素材関連事業は2017年度には赤字より脱却し業績回復を目指しています。

（単位：百万円）

	2015年度 実績	2016年度 計画	2017年度 計画	2018年度 計画
売上高	30,523	32,000	34,000	38,000
営業利益	1,421	850	1,300	1,800
経常利益	1,492	950	1,400	1,900
当期純利益	944	608	896	1,216

以上